

**平成 16 年 度**

**環境局予算要求方針**

## - 目 次 -

1	平成 16 年度 環境局予算要求総括表	1
	一般会計	1
	特別会計	2
2	平成 16 年度予算要求にあたっての基本的考え方	3
3	予算要求の重点事項	5
	健やかに暮らせる共生の街さっぽろ	5
	世界に誇れる環境の街さっぽろ	5
	その他	10
4	事務事業の見直し	12

# 1 平成16年度 環境局予算要求総括表

## 【一般会計】

(単位:百万円)

区 分	平成 15 年度 予 算 額 A	平成 16 年度 要 求 額 B	増 減 額 B - A	増減率 (B-A) / A
<b>環 境 計 画 部</b>	<b>748</b> ( 381)	<b>718</b> ( 532)	<b>30</b> ( 151)	<b>4.0%</b> ( 39.6%)
環境総務費	748 ( 381)	718 ( 532)	30 ( 151)	4.0% ( 39.6%)
<b>清 掃 事 業 部</b>	<b>13,390</b> ( 7,062)	<b>14,453</b> ( 8,097)	<b>1,063</b> ( 1,035)	<b>7.9%</b> ( 14.7%)
ごみ処理費	12,635 ( 6,473)	13,709 ( 7,515)	1,079 ( 1,042)	8.5% ( 16.1%)
し尿処理費	755 ( 589)	744 ( 582)	16 ( 7)	2.1% ( 1.2%)
<b>緑 化 推 進 部</b>	<b>15,767</b> ( 6,767)	<b>15,363</b> ( 6,890)	<b>404</b> ( 123)	<b>2.6%</b> ( 1.8%)
公園緑地管理費	3,914 ( 3,760)	3,899 ( 3,746)	15 ( 14)	0.4% ( 0.4%)
公園緑地整備費	11,853 ( 3,007)	11,464 ( 3,144)	389 ( 137)	3.3% ( 4.6%)
<b>円 山 動 物 園</b>	<b>740</b> ( 253)	<b>860</b> ( 328)	<b>120</b> ( 75)	<b>16.2%</b> (29.6%)
動物園費	740 ( 253)	860 ( 328)	120 ( 75)	16.2% ( 29.6%)
<b>合 計</b>	<b>30,645</b> (14,463)	<b>31,394</b> (15,847)	<b>749</b> (1,384)	<b>2.4%</b> ( 9.6%)

派遣職員に係る人件費を含まず。

## 【特別会計】

### 公共用地先行取得会計

(単位:百万円)

区 分		平成 15 年度 予 算 額 A	平成 16 年度 要 求 額 B	増 減額 B - A	増減率 (B-A) / A
歳入	公園用地先行取得 事業収入	51,438	0	51,438	100.0%
歳出	公園用地先行取得 事業費	51,438	0	51,438	100.0%

### 駐車場会計

(単位:百万円)

区 分		平成 15 年度 予 算 額 A	平成 16 年度 要 求 額 B	増 減額 B - A	増減率 (B-A) / A
歳入	使 用 料	86,000	83,170	2,830	3.3%
	繰 入 金	32,000	33,130	1,130	3.5%
	計	118,000	116,300	1,700	1.4%
歳出	円山公園駐車場管 理費	118,000	116,300	1,700	1.4%

## 2 平成 16 年度予算要求にあたっての基本的考え方

本市では、環境への負荷が少ない持続的に発展することが可能な都市を構築するため、環境基本計画に基づき「地球温暖化の防止」をはじめとする各種施策に取り組んできた。

また、本年 7 月に策定した施政方針「さっぽろ元気ビジョン」の中では、まちづくりの重点施策の一つとして「世界に誇れる環境の街さっぽろ」を掲げたところである。

こうした施策の方向性を踏まえ、環境局においては、「水とみどりのうるおいと安らぎのある街の実現」と「地球環境問題への対応と循環型社会の構築」を柱として、以下の重点政策課題実現に向けた事業の優先付け・重点化を行い、効果的な予算要求を行うものとする。

なお、環境省においても平成 16 年度予算概算要求として、「地球温暖化対策をはじめとする地球環境保全対策の推進」、「循環型社会の実現に向けた廃棄物・リサイクル対策の推進」、「環境汚染の防止、安全・安心な生活の確保」、「生物多様性保全の総合的推進と自然との共生」、「環境行政推進のための基盤強化」の 5 分野を重点施策として提示している。

### 1 みどりの保全・育成とボリュームアップ

市民・企業と共に街の緑化を進めることにより、うるおいのある緑ゆたかな街並みをつくりあげていく。

街路樹・緑地帯の保護・育成を行い、緑ゆたかで質の高い道路景観を創出する。

緑化重点地区を指定し、市街地における緑のボリュームアップを推進する。

## 2 水辺の保全・創出

人間活動による負荷を少なくし，良好な水環境の維持・回復を図る。

水辺の保全やせせらぎの回復などを通して，みどりゆたかで清らかな水辺を創出する。

## 3 地球温暖化の防止

地球温暖化の防止に向けて，市民・事業者・行政が一体となってCO<sub>2</sub>排出量の削減を進めるため，環境問題の深刻さについて市民の理解を深めると同時に，総合的な事業展開により市民の日常生活の中に環境行動のムーブメントを起こす。

本市自ら率先して省エネルギーや新エネルギーの導入をはじめとする環境行動を推進し，その成果を市民・事業者へ波及させる取組みを進める。

## 4 ごみの発生抑制と適正処理

大量生産・大量消費・大量廃棄を基調とした「ワンウェイ型」社会から循環型社会への転換を図るために，企業の事業活動や市民の日常におけるごみの発生抑制，再利用，リサイクルを推進する。

環境に配慮したごみ処理体制を徹底する。

## 5 種の保存の総合的推進

絶滅が危惧される野生動物の種の保存の充実・強化を図る。

種の保存事業についての理解を深めるため，教育普及事業に取り組む。

### 3 予算要求の重点事項

#### 健やかに暮らせる共生の街さっぽろ

##### 地域での高齢者・障がい者の自立支援の促進

490百万円(403百万円)

注:( )内は15年度予算額

- (1) 福祉のまちづくり公園整備事業(緑化推進部) 380百万円  
「福祉のまちづくり条例」に基づき、既設公園を高齢者・障がい者などが利用しやすい構造に改修する。
- (2) 体の不自由な方に配慮した施設整備事業(円山動物園)110百万円【新規】  
体の不自由な人が利用しやすい施設とするため、トイレ等の整備を行う。

#### 世界に誇れる環境の街さっぽろ

札幌の大きな魅力となっているゆたかなみどりの30%増を目指すことや清らかな水辺の創出、街のみどりのボリュームアップを図るとともに、地球温暖化防止に向けてCO<sub>2</sub>の排出量を10%削減することなどを目指し、省エネルギーをはじめとする市民の環境行動、ごみの発生抑制等の環境保全施策を推進する。

- (1) 環境基本計画改定事業(環境計画部) 10百万円  
環境基本計画の改定に向けて、審議会を運営し計画案等を策定する。
- (2) 札幌・環境力・UP事業(環境計画部) 6百万円【重点、新規】  
環境保全に関する行動の喚起と全市的な運動展開に向けたスローガンづくりをはじめとする戦略を検討し実施する。

## 水とみどりのうるおいと安らぎのある街の実現

11,115百万円(11,460百万円)

注:( )内は15年度予算額

- (1) 公園造成(緑化推進部) 1,962百万円  
「みどりの30%増を目指す」の重点政策実現の一助として、緑豊かな公園の整備を行う。(造成33箇所38.6ha)
- (2) 国営公園整備費等負担金(緑化推進部) 496百万円  
国営滝野すずらん丘陵公園の整備費、維持管理費を負担する。
- (3) 個性あふれる公園整備(緑化推進部) 1,072百万円  
開設後20年以上経過した公園を対象に地域の特性にマッチした個性的な公園として再生する。
- (4) 既設公園整備(緑化推進部) 527百万円  
市民の日常利用に対応した既設公園の維持改修等を行う。
- (5) 緑のリサイクル事業(緑化推進部) 14百万円  
街路樹や公園緑地の剪定枝等をマルチング材や堆肥として再利用し、ごみ減量化を進める。
- (6) 公園用地取得(緑化推進部) 3,683百万円【重点】  
「みどり30%増を目指す」の重点政策実現の一助として、緑豊かな公園の整備をするための用地取得を行う。(17箇所11.7ha 重点事業「公共未利用地取得」分2箇所3.4ha 1,478百万円を含む。)
- (7) 丘珠空港緑地用地取得(緑化推進部) 1,766百万円【重点】  
丘珠空港の滑走路延長を機に、騒音や排気ガス等の緩和を目的とし緩衝緑地として整備するための用地取得を行う。
- (8) 道路緑化推進事業(緑化推進部) 429百万円【重点,レベルアップ】  
質の高い道路景観の創出を図るため、街路樹・緑地帯の保護・育成を行い緑のボリュームアップを目指す。
- (9) 都市緑化事業(緑化推進部) 2百万円  
緑の協定や緑化推進地区の指定を通じて、市民による自主的な民有地の緑化活動を図る。また、「市民植樹祭」を実施し、植樹を通して緑化意識の向上と緑の増量を図る。
- (10) 公共施設緑化推進事業(緑化推進部) 50百万円【重点,新規】  
公共施設緑化基準を制定し、市街地の緑の一層の緑化を推進する。また、基準制定に先行して一部の市有施設の緑化を行い、緑化の手法等について検証を行う。



- (11) 民有地緑化推進事業（緑化推進部） 18百万円【重点，新規】  
民有地の緑化を推進するために，緑化推進協議会の設立を促したり，民有地緑化に対する助成制度を拡充する。また，屋上緑化技術の検討を行う。
- (12) 民有地緑化支援制度推進事業（緑化推進部） 5百万円【重点，新規】  
市民，事業者とともに緑化を推進するため，緑化施設整備計画認定制度の導入を図るなど各種支援制度の検討を行う。
- (13) 緑地保全地区取得整備（緑化推進部） 300百万円【レベルアップ】  
緑地保全地区として指定した土地のうち買い入れ申し出があったものを取得する。
- (14) 都市林等整備（緑化推進部） 5百万円  
良好な樹林地の保全と市民へのレクリエーションの場の提供を目的に，市民の森や自然歩道を整備する。
- (15) 都市環境緑地取得整備（緑化推進部） 200百万円  
良好な都市生活環境を維持していく上で重要な樹林地を取得し，保全と活用のために必要な整備を行う。
- (16) 風致地区指定計画調査（緑化推進部） 3百万円  
市街地に残る緑豊かな環境を保全するため，風致地区の新規指定候補地を調査する。
- (17) 都市緑化基金造成費補助金（緑化推進部） 12百万円  
都市緑化の普及・啓発を目的に設置され，その運営は(財)札幌市公園緑化協会が行い，基金の果実(利子)により各種公益事業を実施している。
- (18) モエレ沼公園中央噴水建設（緑化推進部） 536百万円  
イサム・ノグチの設計であるモエレ沼公園の中心に配置される水の彫刻。(平成15・16年度の継続事業)
- (19) さけ科学館講演会・シンポジウム事業（緑化推進部） 3百万円【新規】  
さけが回帰する河川環境を保護することの重要性をPRするため，講演会，シンポジウム，20年の歴史を回顧するパネル展等を行う。
- (20) 個性あふれる公園整備再評価調査（緑化推進部） 9百万円  
より質の高い公園再整備を行うため，再整備後の公園をアンケート調査により評価する。
- (21) 水環境計画推進（環境計画部） 8百万円【レベルアップ】  
札幌市水環境計画における水環境目標の達成に向けて，地下水ヒ素汚染実態解明調査や水生生物の生息状況等の調査を実施する。
- (22) 学校ビオトープづくり事業（環境計画部） 15百万円【レベルアップ】  
環境教育推進事業として「学校ビオトープ」を整備する。

## 地球環境問題への対応と循環型社会の構築

817百万円(785百万円)

注:( )内は15年度予算額

- (1) CO<sub>2</sub>削減アクションプログラム事業(22事業)(環境計画部)  
221百万円【重点,新規】  
CO<sub>2</sub>排出量10%削減を目指し,エコ行動マニュアル作成事業など表記アクションプログラムの平成16年度事業22事業[(3)から(9)までの事業も同アクションプログラム事業]について,総合的かつ有機的な事業展開を図る。
- (2) (仮称)札幌市環境保全設備資金融資あっせん制度(環境計画部)  
24百万円【レベルアップ】  
今日的な環境問題に対応するための新たな設備資金融資あっせん制度を創設する。
- (3) マスコミ環境記事倍増作戦(環境計画部) 10百万円【新規】  
マスコミを活用し,温暖化対策等を広く市民に啓発する。
- (4) CO<sub>2</sub>発生量算出ソフト開発(環境計画部) 1百万円【レベルアップ】  
CO<sub>2</sub>排出量の最新年度までの推計値(速報値)を算出するためのソフトを開発する。
- (5) インターネット企業広告を利用した環境保全活動の支援(環境計画部)  
2百万円【新規】  
環境プラザのホームページ上に企業広告を掲載し,市民のアクセスにより企業から10円程度の広告料を徴収し,環境学習や環境活動への支援に充てる。
- (6) 自動販売機設置・深夜営業店舗等基礎調査(環境計画部)  
15百万円【新規】  
自動販売機,深夜営業店舗の実態調査を行い,地球温暖化に与える負荷の大きさ等の検証を行う。
- (7) 事業活動における環境保全行動推進(環境計画部)  
7百万円  
企業,関係団体と協働で業種別環境保全行動マニュアルを策定する。また,マニュアルの普及を目的にセミナーを開催する。
- (8) Kids ISO推進事業(環境計画部) 1百万円  
環境教育の一環として,ISOの考え方を取り入れた子供向け環境家計簿の普及を図る。

- (9) グリーン配送制度導入事業（環境計画部） 1 百万円【新規】  
本市への納品や委託業務発注時における低公害車等使用の規定整備に向けた調査を実施する。
- (10) 低公害車普及啓発事業（環境計画部） 6 百万円  
クリーンエネルギー自動車の普及促進事業（パンフ作成，シンポジウム開催）を実施する。
- (11) 低公害車導入事業（環境計画部） 34 百万円  
公用車への低公害車導入（ごみ収集車 8 台等）を進める。
- (12) さっぽろごみゼロ会議運営（環境計画部） 14 百万円【レベルアップ】  
ごみ減量化のしくみづくりを検討するための「さっぽろごみゼロ会議」の開催，情報発信，シンポジウムを開催する。
- (13) さっぽろごみプラン 21 改定（環境計画部） 7 百万円【新規】  
「さっぽろごみプラン 21」改定のための基礎調査や審議会の運営補助，審議経過の情報提供等を行う。
- (14) 蛍光灯拠点回収・リサイクル事業（環境計画部） 19 百万円【新規】  
家庭から排出される蛍光灯の分別回収・リサイクルを市民・事業者・行政の役割分担のうえで実施する。
- (15) 木質系バイオマスリサイクル事業（環境計画部） 30 百万円【新規】  
埋立地延命化のため，剪定枝等をチップ化し燃料，マルチング材等にリサイクルする。
- (16) ごみ減量アクションプログラム（清掃事業部） 7 百万円【レベルアップ】  
ごみ減量化に向けた市民・事業者・行政による推進会議を設置し，キャッチコピーとロゴデザインを作成するとともに，全市キャンペーン運動を展開する。
- (17) 生ごみハンドブック普及事業（清掃事業部） 1 百万円【レベルアップ】  
生ごみ減量・リサイクル普及のための講習会へ講師を派遣する。
- (18) 古紙リサイクル応援事業（清掃事業部） 5 百万円【レベルアップ】  
古紙回収の空白地帯解消策として民間ルート等を活用した「回収拠点」を新設し古紙保管庫の貸与を行う。
- (19) リサイクル推進基金造成（清掃事業部） 100 百万円  
資源物（スチール缶・アルミ缶・無色びん）の売却代金等を基金に積み立て，運用益は，ごみ減量・リサイクルの普及啓発事業等に充当する。
- (20) 産業廃棄物減量・リサイクル及び市域内処理推進事業（清掃事業部）  
19 百万円【重点，新規】  
産業廃棄物処理の実態調査及び市域内処理を推進するため市民・排出事業者・処理業者・学識経験者からなる懇談会の設置運営等を行う。

- (21) 産業廃棄物処理指導計画（清掃事業部） 1 百万円  
産業廃棄物ガイドを改訂し，講習会を実施する。
- (22) 自動車リサイクル法指導啓発業務（清掃事業部） 3 百万円【新規】  
自動車リサイクル法の施行に伴い，市民への周知，関係業者に対する情報提供を行う。
- (23) 不法投棄防止対策事業（清掃事業部） 30 百万円  
不法投棄抑制を目的とした 24 時間体制の監視・啓発パトロールを行う。
- (24) 清掃車両等購入（清掃事業部） 259 百万円  
ごみ収集車 21 台（うち，天然ガス車 8 台），その他車両 3 台更新

## その他

### (1) 環境計画部

- ア 歩行喫煙及びポイ捨て防止調査・啓発事業 23 百万円【新規】  
歩行喫煙及びポイ捨ての状況について調査を行う。
- イ ISO14001 普及促進事業 10 百万円  
札幌市環境マネジメントシステムの運用管理（職員研修，更新審査等）
- ウ 道路交通騒音評価システム事業 7 百万円  
騒音規正法改正に対応した道路交通騒音推計システムを構築する。
- エ 環境目録（マップ）作り事業 1 百万円【新規】  
自然環境など環境に関する情報の目録（マップ）づくりをテーマにした市民参加型の環境教育促進事業を実施する。
- オ 環境監視体制整備 13 百万円  
大気汚染測定機器の更新を行う。

### (2) 清掃事業部

- ア ごみ埋立地造成 300 百万円【重点，新規】  
不燃ごみや焼却灰などを適正に処理するため，既存の埋立地内に新規埋立ブロックを造成することが急務となっており，平成 17 年度からの造成に向けた整備を行う。
- イ 硝酸性窒素処理施設新設事業 268 百万円【重点，新規】  
埋立地の排水基準改正に適合させるため，硝酸性窒素処理施設を新設する。  
（継続費 平成 16～17）

ウ	ごみ埋立等用地取得 第3山口処理場用地取得 北部事業予定地測量等	240 百万円
エ	ごみ埋立地整備 山本処理場等	120 百万円
オ	清掃工場整備 発寒，篠路，駒岡	429 百万円
カ	清掃工場等環境対策 ダイオキシン等検査	29 百万円
キ	厚別清掃工場解体 厚別清掃工場廃止による解体工事（継続費 平成 15～17）	1,150 百万円
ク	粗大ごみ破碎工場整備 発寒	10 百万円
ケ	ごみ資源化工場整備 原料保管ヤード等整備	55 百万円
コ	清掃事務所整備 中央，北	7 百万円
サ	合併処理浄化槽設置費補助金 10 基	5 百万円

### (3) 緑化推進部

ア	森林整備地域活動支援交付金 森林所有者等が森林施業の実施に不可欠な森林の現況調査など地域における活動を確保するための支援措置として行う。	3 百万円
イ	野生化アライグマ調査・捕獲事業 野生化したアライグマは札幌市域内で徐々に生息地域を拡大し，農業被害額は増加の一途で，生態系への影響も懸念されているため，箱わなを用いて捕獲のうえ，調査・研究を行い，今後の対策の基礎資料とする。	24 百万円【新規】
ウ	犬の放し飼い等巡回指導事業 警備員を配置し，犬の放し飼い防止及び糞の処理について啓蒙を図る。	17 百万円【新規】

#### (4) 円山動物園

ア 円山動物園動物病院建設 33 百万円【重点】

種の保存の中核施設として充実を図るため、動物病院の建設を行う。

イ 子供動物園整備事業 75 百万円【レベルアップ】

現在の子供動物園を、環境教育を効果的に実施するための飼育体験ゾーンとして増改築等の整備を行う。

ウ 円山動物園教育普及利用実態調査事業 2 百万円【新規】

市内小中学生や来園者を対象に、環境教育施設としての利用方法やリピーター確保についてのアンケート調査を実施する。

エ チンパンジー館屋外放飼場観覧ドーム整備事業

150 百万円【新規】

チンパンジー館の屋外放飼場にガラス張りの観覧ドームを設け、観覧者にチンパンジーとの同一空間を体験させることにより、魅力的な施設とする。

## 4 事務事業の見直し

### (1) 環境計画部

水質分析等各種検査業務の委託化により、経費の抑制に努める。

### (2) 清掃事業部

事務事業の効率化により、経費の節減を図る。

### (3) 緑化推進部

公園などの管理運営等の効率化を進め、経費の抑制を図る。

### (4) 円山動物園

ア 新動物舎(リスざる舎等)のオープンや子供動物園の充実を図ることにより、入園者の増を図る。

イ 動物園の施設維持管理等に係る委託業務を見直し、経費の抑制に努める。